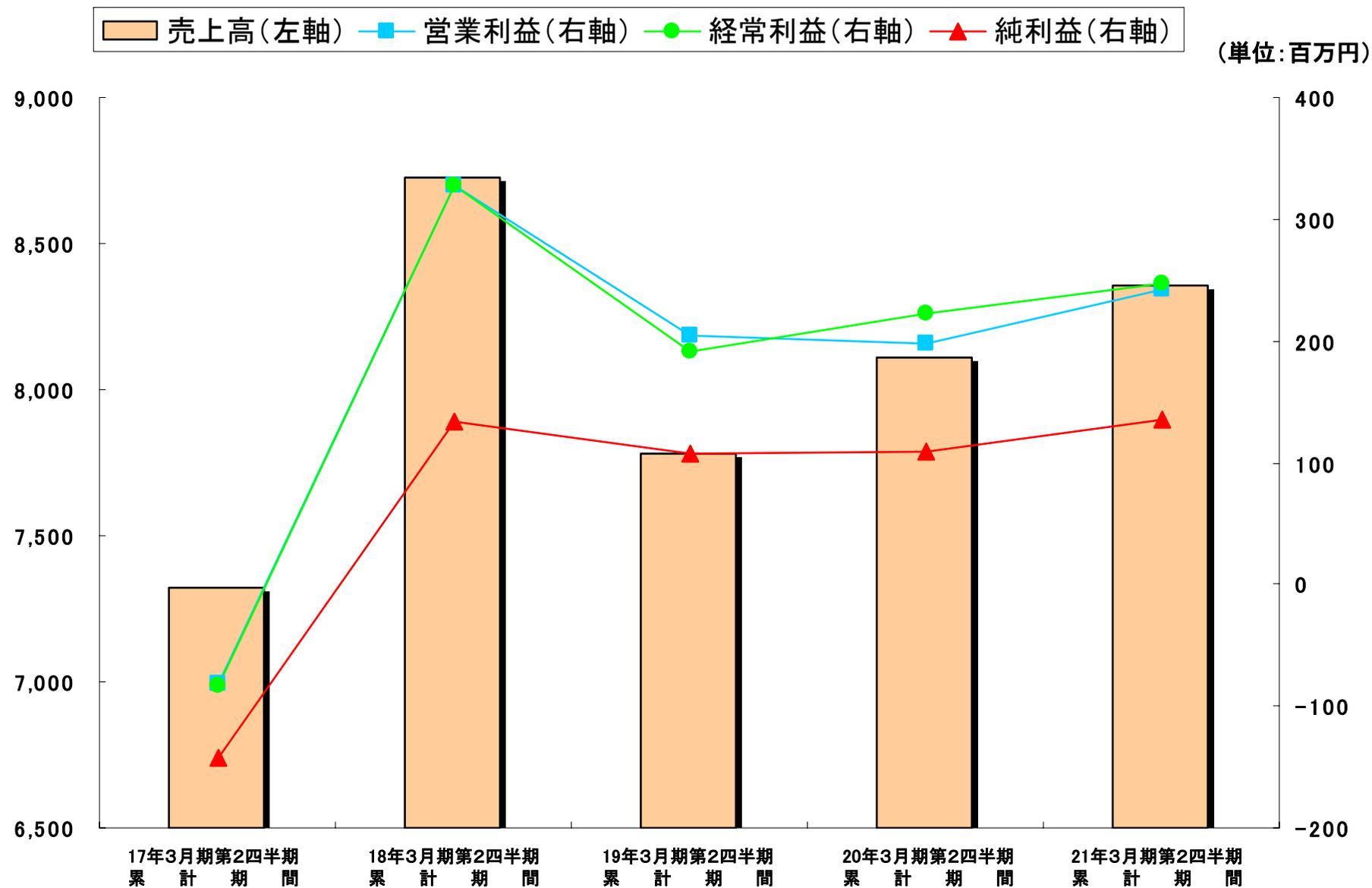


平成21年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社ディーエムエス



過去5事業年度の主要連結財務指標の推移



平成21年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結損益計算書)



(単位：百万円)

	17年3月期 第2四半期 累計期間	18年3月期 第2四半期 累計期間	19年3月期 第2四半期 累計期間	20年3月期 第2四半期 累計期間	21年3月期 第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	7,322	8,724	7,778	8,107	8,357	249
営業利益 又は営業損失(▲)	▲82	327	204	197	243	45
経常利益 又は経常損失(▲)	▲84	328	191	222	247	24
四半期純利益 又は四半期純損失(▲)	▲143	133	107	109	135	26

◆要 因

売上高：宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたマーケティングサービス業務の内製化を推進するとともに、既存顧客との取引拡大および新規顧客開拓を積極的に展開したことにより増収。

営業利益：売上高の増加に加え、基幹系システム費用の減少により前年同期に比べて管理費が36百万円減となったことにより増益。

経常利益：営業外収支は前年同期比20百万円の減少となったものの、営業利益で吸収し増益。

四半期純利益：上記の各要因による増益。

平成21年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結貸借対照表)



(単位：百万円)

	20年3月期 会計年度末	21年3月期 第2四半期 会計期間末	前連結会計 年度末比	主な増減内容
流動資産	7,132	6,555	▲576	●現預金の増加：+245 ●売上債権の減少：▲774
固定資産	6,381	6,525	143	●早期適用のリース会計の影響：+174 ●投資有価証券の評価下げ：▲77
資産合計	13,513	13,081	▲432	
流動負債	3,684	6,157	2,473	●仕入債務の減少：▲598 ●長期借入金からの振替：+2,820 ●短期リース債務の増加：+135 ●前受金の増加：+108
固定負債	3,350	500	▲2,850	●短期借入金への振替：▲2,974 ●長期リース債務の増加：+117
負債合計	7,035	6,658	▲377	
純資産合計	6,478	6,423	▲55	●四半期純利益の増加：+135 ●剰余金の配当支出：▲143 ●有価証券評価差額金：▲47
負債・純資産合計	13,513	13,081	▲432	

平成21年3月期 第2四半期の決算概要(要約連結キャッシュ・フロー)



(単位：百万円)

	21年3月期 第2四半期 累計期間	主な増減内容	(参考) 20年3月期 会計年度
営業活動 キャッシュ・フロー	750	<ul style="list-style-type: none"> ●税引前四半期純利益の計上：+245 ●減価償却費の計上：+258 ●売上債権の回収：+774 ●立替郵送料の回収：+83 ●仕入債務の支払い：▲598 	1,094
投資活動 キャッシュ・フロー	▲645	<ul style="list-style-type: none"> ●設備投資：▲120 ●定期預金への預け入れ：▲510 	▲311
財務活動 キャッシュ・フロー	▲369	<ul style="list-style-type: none"> ●リース債務の返済：▲72 ●長期借入金の約定返済：▲154 ●配当金の支払い：▲142 	▲531
現金及び 現金同等物残高	1,477	<ul style="list-style-type: none"> ●上記の各要因による資金の減少：▲265 	1,742

平成21年3月期 第2四半期の決算概要(連結セグメント別の状況)

(単位：百万円)

	21年3月期 第2四半期累計期間			
	売上高	前年同期比	営業利益 または 営業損失	前年同期比
ダイレクト メー ル	7,261	471	542	66
セー ル ス プ ロ モ ー シ ョ ン	820	▲231	45	▲64
イ ベ ン ト	264	14	▲10	▲7

◆要 因

- ダイレクト
メー
ル
- バリアブル・プリント業務の強化
 - トータルサービスを強みとした提案型営業の展開
 - 業務の内製化推進による利益向上
- セー
ル
ス
プ
ロ
モ
ー
シ
ョ
ン
- 各種販促支援および企画制作業務の新規受注の活性化
 - 大口顧客からの企画制作業務の受注減少
- イ
ベ
ン
ト
- 既存案件の受注の維持
 - 販売促進イベントの運営業務の新規受注
 - 顧客企業のコスト削減

◆平成21年3月期 通期業績予想(連結／個別)

(単位:百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)	予想数値	前期比 (%)
連結	18,800	1.4	760	▲10.7	710	▲17.2	410	▲74.7
個別	18,500	1.4	750	▲11.2	700	▲17.5	400	▲75.3

◆平成21年3月期 配当予想

1株当たり年間配当金(予想) 20円00銭

企業と消費者の双方向の情報交換を実現する ダイレクトコミュニケーションの先進企業として

- 業務センターを中核とした生産体制の効率化と内製化促進
- 最新IT技術を駆使した各種機能の拡張と高度化によるトータルサービスの充実
- 新商品開発や提携戦略による業務領域の拡張と競争力の向上
- 汎用性を高めた情報処理および物流加工運営システムを展開しての周辺業務領域への進出
- 個人情報を中心とする機密情報管理の徹底

などを主要テーマとし、業界先進企業にふさわしい強固な収益基盤を構築する。

1. 最高レベルのサービス提供と内製強化

“ディーエムエス業務センター”（さいたま市）を中核に、生産能力強化と生産性向上を強力に推進しており、「品質・価格・納期・情報管理」の面で、業界最高レベルのサービスを追求すると同時に、個人情報流出リスクに対処するため、業務センターでの内製化を推進しており、生産体制と安全性の両面から、名実ともに「ワンストップ・サービス」が実現できることで、業容の拡大と業績の向上に大きく寄与するものと考えております。

2. 周辺事業への進出

当社が誇るトータルサービスは、「高度な情報処理システムに支えられた最先端の物流加工業」として顧客の要望にお応えしております。今後はこれらの様々な機能を複合的かつ発展的に活用し、ビジネスチャンスを拡大するべく、周辺業務領域の拡張と進出に向け、各種施策を検討してまいります。

3. CRM需要への対応

顧客企業のマーケティング戦略において、CRM（消費者との長期的な関係を築く手法）が重要視され、消費者に最適な情報を送るための様々な施策が実施されております。こうした状況において、当社は、企画制作から情報印刷、自動選択封入・フィルムラッピング機や配送コストにおけるスケールメリットなどの有力リソースの活用度をさらに高めるとともに、資料請求対応やポイントサービス事務局など対消費者窓口のノウハウを生かし、トータルサービスを実践することで、顧客との長期的な取引による収益の確保と拡大を図ってまいります。

4. 個人情報の保護

当社は、個人情報保護問題の先駆者として、平成11年に「プライバシーマーク」を取得し、平成17年に「ISMS」の認証を取得しております。業務センターにおいては、5段階のゾーンニング管理、非接触ICカードによる個人単位での入退出制限を実施し、全社ベースで最新技術によるネットワークへの不正アクセス防止と内部アクセス制限を強化するなど個人情報の流出防止を図っております。また、従業員のモラルアップと管理策の徹底のため、全社を対象にした教育研修を継続的に実施しております。今後もこの取り組みを維持・強化することで、さらに顧客企業の信頼を深め、受注の増強を図るとともに、消費者保護に努めてまいります。

※ISMS適用範囲: 管理本部、営業本部、プロモーション本部、業務本部。

「プライバシーマーク」 JISQ15001:2006
「ISMS」 JISQ27001:2006 のダブル認証。

「個人情報保護なくして、よいDMは送れません。」

■■プライバシーマーク■■

許諾番号 : 第10860001(05)号

有効期間 : 平成21年2月2日



■■ISMS■■

登録番号 : JUSE-IR-045

有効期間 : 平成23年10月20日



認証取得部門：管理本部、営業本部、プロモーション本部、業務本部

※ ISMSは平成20年10月20日に第1回目の更新をいたしました。

DMS第二業務センターを開設。

『業務センター』（埼玉県さいたま市）との二拠点体制とし、さらなる受注量拡大と内製化を推進するため、新たに『第二業務センター』を開設しました。

【第二業務センターの特徴】

(1)ペイエリアに立地

首都高速湾岸線、浦安ICから約5分。羽田空港、成田空港、大井埠頭、横浜埠頭など、あらゆる輸送モードに好アクセスでき、総合的な物流コスト低減が図れます。

(2)広いスペース

約2,000坪の広いスペースで、荷物の形状に制限されることなく様々な物流加工作業にフレキシブルに対応することができます。

(3)ロジスティクス

適正在庫を維持しピッキング・梱包作業を効率化するシステムと各種物流機器の活用により、スムーズかつスピーディなサービスをご提供できます。

(4)情報セキュリティ

不正なアクセスを防御し、個人情報やキャンペーン開始前の機密情報を含む物品の管理にもご安心いただけます。



名 称:株式会社ディーエムエス 第二業務センター
所 在 地:千葉県市川市塩浜三丁目17-17
延床面積:約6,800㎡(約2,000坪)

業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス
(社長室)
TEL:03-6859-2961(代)